

Hokkaido Overview

第5回 建設業界

気になる業界の現状や将来の展望、U・Iターンの状況は？
業界全体の大局を見ることで、
よりよい転職につながるヒントを掴もう！

★北海道建設業協会を直撃!!



一般社団法人 北海道建設業協会 労務部長 遠藤 憲治さん

1割程度の1~2万人が、当協会に属する「建設技術者」にあたります。

北海道における建設業の業務量ピークは平成9年頃で、そこから右肩下がりに縮小が続いていました。平成25年に現政権が発足してからは、ピークには追いつかないまでも、徐々に回復傾向に転じています。この傾向が続いてほしいところですね。

北海道の建設業は公共事業、つまり土木系の割合が比較的高いのが特徴です。道路や、河川や港湾などがこれにあたります。例えば北海道の高速道路は本州に比べて整備が進んでいないので、今後も発展傾向が続くと考えています。そのほか都市部の再開発や北海道新幹線に伴う工事なども重要な位置を占めています。

一方で、人材不足が大きな課題となっているのも事実です。北海道労務局が発表している「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は4.85倍と非常に高くなっています(平成30年5月内容)。新たな入職者を育てることが課題とされている他、離職率の高さも問題視されています。

て北海道の生活基盤・産業基盤を支え、ひいては北海道の発展に寄与することを理念として活動しています。

北海道内の各地域(札幌・函館・室蘭・小樽・空知・留萌・旭川・帯広・釧路・網走・稚内)の11の建設業協会が構成され、会員企業は現在682社です。会員企業はいわゆる「ゼネコン」と呼ばれる総合工事業・土木建設業。北海道全体で建設業関連の従事者はおよそ20~21万人おり、そのうち

Q 北海道の現在の建設関連業界の状況は？

A 公共事業の回復をバネに、業務量は増加傾向

一般社団法人北海道建設業協会は、1916(大正5)年に同志が集まり設立された札幌土木建築請負業組合を前身としており、今年で設立102年となります。建設業界の振興を通し

Q 人材育成、募集のための働きかけは？

A 若年層を中心に意識啓発 女性の入職も積極推進

現在、当協会では、将来建設業に入職する若い人材を育成するために、主に小・中・高校生といった世代を対象とした啓発や働きかけを行っています。現場見学会や、工業高校生を対象にしたインターンシップ、また、建設業に興味を持ってもらえるよう、PRまんの作成・配布等も数年前から手がけています。意見交換会では「将来、建設業に就きたい」という声も聞かれるようになり、手応えを感じています。

もう一つ積極的に取り組んでいるのが、女性の入職促進です。北海道では、建設業界で働く女性たちが平成28年、「建設どさん娘の会」を自発的に立ち上げ、勉強会や交流会などの活動を行っています。その他、例えばトイレやロッカールームの整備など、女性にとって働きやすい環境づくりに取り組む会員企業も増えてきています。

Q 建設関連分野でのU・Iターンを目指す人へ

A 中堅としての即戦力に期待 若手の指導・育成にも力を!

若い世代を育てる一方、建設業界で深刻なのは、即戦力となり、また若手を指導する中堅層の薄さです。

若手にとっては、身近に相談や指導を仰ぐことのできる年の近い先輩が少ないことも、離職率の高さの一因につながっているのかもしれませんが、U・Iターンを希望される方には、自らの資格や技術・経験を活かして活躍することももちろん、これからの担い手となる、若い世代を導くリーダーとなっていただくことを期待しています。



若者や女性層に建設業の魅力やPRするパンフレットなど

Q U・Iターン希望者への情報提供などは？

A 「北海道U・Iターンフェア」出展!ぜひ来場して相談を

具体的なU・Iターンの採用活動は、基本的に個々の会員企業の取り組みとなりますが、9月に開催される「北海道U・Iターンフェア」には、当協会も参加が決定しています。北海道で働きたいという方のご相談にのったり、多くの会員企業がある中からマッチングのお手伝いができればと考えています。

当日はブースを設けておりますので、全国各地での仕事を体験した後で北海道に戻りたい方、あるいはキャリアや資格を活かして北海道の建設業界で働いてみたいという方は、ぜひ来場してみてください。

一般社団法人 北海道建設業協会
〒060-0004
北海道札幌市中央区北4条西3丁目1
北海道建設会館7階
TEL.011-261-6186(労務部)
FAX.011-251-2305
http://www.doukenkyo.jp/

再就職への近道 ハロートレーニング!

- ☆ 求職者の方を対象に、早期再就職に向けた標準6か月のハロートレーニング(職業訓練)を行っています。
- ☆ 北海道で、ものづくり分野の就職を目指す方に特におすすめです。
- ☆ 受講料無料!(テキスト代は別途必要になります。)

道内の各施設でも、ものづくり分野のハロートレーニング(職業訓練)や事業主向けの社員の能力開発に関する支援を実施しています。お気軽にご相談ください。

- ・ポリテクセンター旭川(旭川市)…………… TEL0166-48-2327
- ・ポリテクセンター釧路(釧路市)…………… TEL0154-57-5938
- ・ポリテクセンター函館(函館市)…………… TEL0138-52-0323
- ・北海道職業能力開発大学校(小樽市)…………… TEL0134-62-3551



ポリテクセンター北海道

(北海道職業能力開発促進センター)
〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条1丁目4-1
TEL 011-640-8761(受講者係)



※QRコード

ポリテク北海道 検索

北海道で農業をはじめませんか

平成30年度 北の大地への入門編
「北海道新規就農・農業体験セミナー」を東京・大阪・札幌で開催します。

東京会場	4月6日8日10日12月2月、月1回土曜日	開催 時間	東京・大阪・札幌各会場
大阪会場	5月7日9日11月1月3月、月1回土曜日		土曜日午前・午後の2回開催
札幌会場	毎月1回土曜日		①9:30~11:30 ②13:30~15:30

北海道農業への関わり方を中心に説明するセミナーです。個別のご相談も行います。お気軽にご参加ください。[要予約]

札幌では新規就農サポートデスクを常設(月~金 10:00~16:00)

お問い合わせは 公益財団法人 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター ■相談ダイヤル■ ☎0570-044-055
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目北海道通信ビル6F TEL/011-271-2255 FAX/011-271-3776 詳しくはホームページ「農業をはじめめるサイト」で検索

北海道農業担い手育成センターは北海道で農業をはじめたい、農業法人に就職したい、農作業や農村生活を体験してみたい、などとお考えの方の総合相談窓口です。全道174市町村にある地域担い手育成センターと連携し研修先や就職先の農業法人を紹介します。セミナーに参加して、新規就農にまつわる疑問や不安を解消し、北の大地での農業にチャレンジしてみませんか。